



# 南風

1月11日(水)発行  
四日市市立南中学校

**新年明けまして  
おめでとうございます！**



**本年もよろしくお願ひ申しあげます！**



今年の始まりは、昨年の雪景色とは違ってかわり穏やかな日の出とともに新年を迎えることができました。今年こそすばらしい1年が送れそうな、そんな期待がもてるスタートでした。昨年は、東日本大震災をはじめ東紀州台風被害など自然の驚異を思い知らされ、人と人のつながりの大切さや家族の大切さを新聞・テレビ等でくり返し報道され、私たちの生活を振り返る大切な一年であったように思います。そのような社会の流れの中、私の個人的にはなりますが、今年の年末年始そして正月は、実にゆっくりのんびりと家庭で過ごすことができました。久しぶりに時間が、ゆったりと進んでいるかのように感じた安定した穏やかな心のひとときでもありました。

一年の始まりに際し、このひとときに感じたことを年頭にあたり記することになります。それは、年末恒例「清水寺」の住職により1年を一字で表す漢字に取り上げられました「絆」に表されるとおり、つながりの大切さやすばらしさを、皆さんも感じとって欲しいと思い願うものです。普段は二人きりの寂しい我が家も、正月ということで久しぶりに息子達夫婦、そして孫が勢揃いし家庭に明るさにぎやかさが昔(子どもが小さかった頃)に戻ってきたように訪れました。それは、私はもとより皆がとても楽しそうで、元気で過ごせることの幸せや皆が集って話しができることの幸せを感じることができました。特に母親は、ここぞとばかりに「これは好きか？あれは食べることができるかか？」など声をかけながら「腕によりをかけ」ごちそうづくりに励み、嬉しさと喜びがひしひしと伝わってくるのを感じました。普段は、忙しくゆっくりと話す暇さえもない日々ですが、このときばかりは近況報告や楽しかったこと苦しかったことなどに話が弾み、暖かい雰囲気の中で時が流れるように過ぎていきました。中学生の皆さんには、まだこのような気持ちは理解しにくい部分でもあるでしょうが、祖父母に顔を見せたり、家族・親族が集まり一緒に時間を過ごすような機会があったなら、是非とも時間をともに過ごしてほしいと思います。自分の親や祖父母は、成長した息子や娘そして孫の姿を見るだけでも、このうえなく嬉しいものです。人と人のつながりが大切なように、親や兄弟のつながりを是非大切に生活をして欲しいと思います。

さて、本校は少しずつ「挨拶」がいろいろな場面や場所でできるようになりつつあり、スポーツも文化活動も意欲的に活性化しつつあるように感じています。しかしながら、大変な状況であり時期であることは変わりなく、全職員はもとより生徒や保護者の皆さんそして地域の皆様と共に「楽しく充実した学校生活」が送れるよう取り組んでいきたいと思ひます。どうか、本年もご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

生徒の皆さんも、今年1年がすばらしい年になるよう一人ひとりが、それぞれに新たな目標を立て、自分の「目標」に向かって大いなる飛躍をしてほしいと思ひます。新しい年明けは、年度(学年)の総仕上げの時期でもあります。3学期は非常に短くて早く過ぎ去っていきます。やがて来る卒業や進級が、より充実したものになるよう「新年の決意」を大切に、3学期の1日1日を有意義に生活してください。

## **3年生は、テストに続き入試本番です！ 夜型から昼型へ**

昨日と今日の実力テスト、18日～20日の卒業テスト、そしてテスト後の21日から私立(高専)高校の入試がスタートし、本格的に進路決定への挑戦が始まります。これまで学習してきたことはもちろんですが、服装・身だしなみやマナーも非常に大切なことですから、普段の学校生活からきちんとできるような心掛けたいものです。それから何よりも大切なことは、健康です。風邪の流行する季節ですから、健康には特に注意を払って栄養と休養を充分とり、ベストコンディションで最高の自分を出せるようにしましょう。

